

芸術資産

「評価」による

次世代への継承

美術館に
期待される
役割

▶日時——2018年11月30日(金)
17:00～19:00 [受付開始 16:30]

▶会場——国立新美術館 3階講堂
[東京都港区六本木 7-22-2]

▶プログラム (敬称略)

17:00～17:10 | キーノートスピーチ

青柳正規 [東京大学名誉教授、山梨県立美術館館長、前文化庁長官]

17:10～17:50 | ダイアログ「芸術資産の価値を高めるには？」

青柳正規 [東京大学名誉教授、山梨県立美術館館長、前文化庁長官]

柴山桂太 [京都大学大学院人間・環境学研究科准教授]

18:00～19:00 | パネルディスカッション

岩崎かおり [アートコレクター]

加治屋健司 [東京大学大学院総合文化研究科准教授]

田根剛 [建築家]

名和晃平 [彫刻家]

柴山桂太 [京都大学大学院人間・環境学研究科准教授]

(司会) 青柳正規

[東京大学名誉教授、山梨県立美術館館長、前文化庁長官]

19:00～19:45 | 参加者交流会

※コーヒー・ソフトドリンクをご用意しております

来場者アンケートに
ご協力お願いいたします。



登壇者プロフィール（敬称略・五十音順）



▼
青柳
正規

あおやぎ・まさのり | 1944年大連生まれ。古代ギリシャ・ローマ美術史研究の第一人者として、40年以上にわたり、地中海遺跡の発掘調査を続けている。1967年東京大学文学部美術史学科卒業後、1969～1972年ローマ大学に留学、古代ローマ美術史・考古学を学ぶ。文学博士。東京大学副学長、国立西洋美術館長、独立行政法人国立美術館理事長、文化庁長官を経て、現在に至る。東京大学名誉教授。山梨県立美術館館長。日本学士院会員。2006年紫綬褒章。2011年日本放送協会放送文化賞受賞。



▼
岩崎
かおり

いわさき・かおり | アートコレクター。金融機関勤務。愛媛県生まれ。アート鑑賞と旅行が趣味の両親のもとで育ち、幼少のころから国内外のアート鑑賞が習慣となり、幼いながらもアートが人に与える力を感じアートが好きになる。学生時代にバリのボンビドゥー・センターを訪れた際、コンテンポラリーアートに感銘を受け、社会人になってからは海外のアートフェアにも訪れるようになる。2015年のアートバーゼル香港にて名和晃平のPixCell作品を購入して以来、アートコレクションの魅力にはまる。世界のアート関係者とのつながりを通じ、海外市場との格差や日本はアートが活性化しにくい環境であることを強く感じ、日本のアート市場を活性化するための活動に励む。2018年会社内にてアートクラブを発足。



▼
加治
屋健司

かじや・けんじ | 1971年生まれ。東京大学大学院総合文化研究科准教授。表象文化論・現代美術史。東京大学教養学部卒業。ニューヨーク大学大学院美術研究所博士課程修了。PhD(美術史)。日本美術オール・ヒストリー・アーカイヴ代表。共編著に *Shaping the History of Art in Southeast Asia, Art Studies*, no. 3 (Tokyo: Japan Foundation Asia Center, 2017)、*From Postwar to Postmodern, Art in Japan 1945-1989: Primary Documents* (New York: Museum of Modern Art, 2012)、『中原佑介美術批評選集』全12巻(現代企画室+BankART出版、2011-)、共著に『マーク・ロスコ』(淡交社、2009)、『マンガを「見る」という体験』(水声社、2014)、『地域アート 美学／制度／日本』(堀之内出版、2016)など。



▼
柴山
桂太

しばやま・けいた | 1974年東京都生まれ。京都大学経済学部卒。同大学院人間・環境学研究科博士後期課程単位認定退学。滋賀大学経済学部講師、准教授を経て2015年より、京都大学人間・環境学研究科准教授。専門は経済学、経済思想、現代社会論。著書に『静かなる大恐慌』(集英社新書)、共著に『グローバリズム その先の悲劇に備えよ』(集英社新書)、『危機の思想』(NTT出版)など。



▼
田根
剛

たね・つよし | 建築家。1979年東京生まれ。Atelier Tsuyoshi Tane Architectsを設立、フランス・パリを拠点に活動。場所の記憶から建築をつくる「Archaeology of the Future」をコンセプトに、現在ヨーロッパと日本を中心に世界各地で多数のプロジェクトが進行中。主な作品に『エストニア国立博物館』(2006-16)、新国立競技場基本構想国際デザイン競技案「古墳スタジアム」(2012)、『Todoroki House in Valley』(2017-18)、『LIGHT is TIME』(2014)など。フランス文化庁新進建築家賞、フランス国外建築賞グランプリ、第67回芸術選奨文部科学大臣新人賞など多数受賞。2012年よりコロンビア大学GSAPPで教鞭をとる。

photo: Yoshiaki Tsutsui



▼
名和
晃平

なわ・こうへい | 彫刻家。SANDWICH Inc.主宰。京都造形芸術大学教授。1975年生まれ。京都を拠点に活動。2003年京都市立芸術大学大学院美術研究科博士課程彫刻専攻修了。2009年、京都に創作のためのプラットフォーム「SANDWICH」を立ち上げる。独自の「PixCell」という概念を軸に、さまざまな素材とテクノロジーを駆使し、彫刻の新たな可能性を拓いている。近年は建築や舞台のプロジェクトにも取り組み、空間とアートを同時に生み出している。現在フランスのルーヴル美術館・ピラミッド内に巨大彫刻作品“Throne”を展示中。

photo: Nobutada OMOTE : SANDWICH